

米多比

(ねたび)

生涯学習や社会教育という言葉が流行る、
ずっとずっと昔から、人や地域を大切にしてきた
小野校区の中心地、米多比。

当時の小野村役場

(現在の米多比コミュニティ消防センター)を有し、
昭和40年1月に開所した「児童館」(注1)は、
福岡県における建設第1号の児童館です。

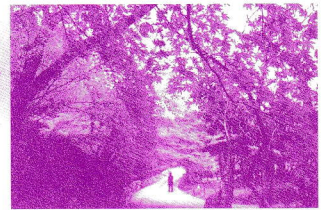
※(注1) 児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、または情操を豊かにする施設。

長い歴史をもつ地域の運動会を

今もお続けている民の里。

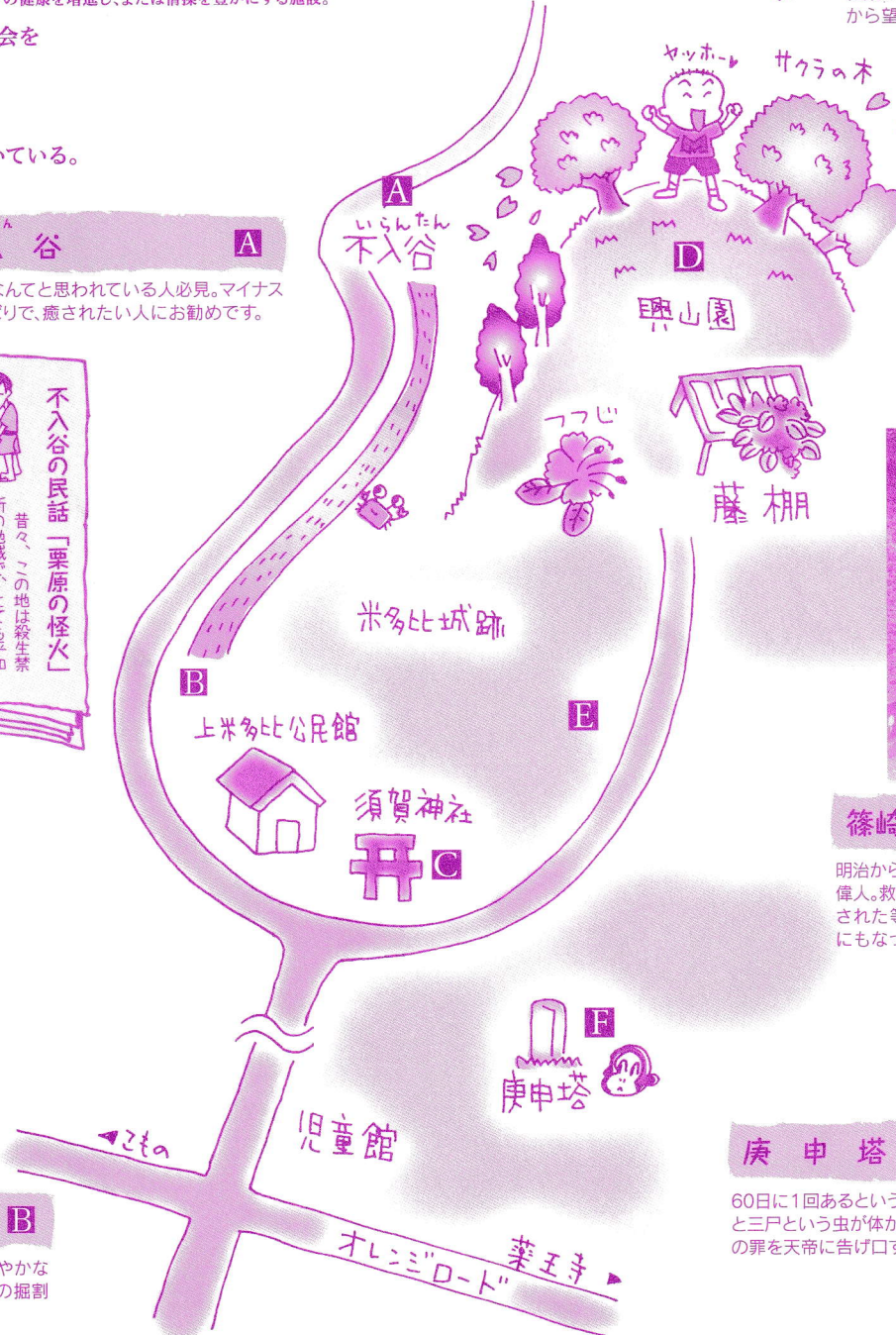
まちづくりの原点が

この地にはしっかりと根付いている。



興山園 **D**

古賀市最大の自然公園(個人経営)。
43ha以上の山々に170種、約7万本以上の
花木が植栽され、四季折々の花が楽し
めます。市民の憩いの場として開園以來
ずっと無料で開放されており、桜やツツジ、
紅葉の時期は来園者が後を絶えず、頂上
から望む眺望は絶景です。



不入谷 **A**

古賀で清流なんてと思われている人必見。マイナス
イオンばりばりで、癒されたい人にお勧めです。

不入谷の民話「栗原の怪火」

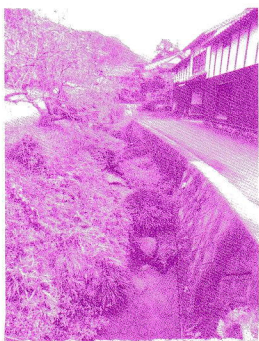
昔々、この地は殺生禁
断の地域で、とても平和
な村里でした。あるとき、
さやま吉という若者がこの
地に移り住んできました。
この美しい若者は、実は
不治の病を持ち、殺生禁断を破り、
どんな病にも効くといわれる小猿の生き胆
を食べました。結局、掟を破った事が
ばれるのですが...

この続きは古賀市立図書館7階の歴史資料館で



篠崎新助像 **E**

明治から大正にかけて多くの人々を救った
偉人。救われた人たちの基金によって建立
された等身大の像。千人参りの番札所
にもなっている。



上米多比の水路 **B**

民話から飛び出てきたような穏やかな
集落にたたずむ美しい水路。柳川の掘削
は、もしかしたらここが起源かも。



須賀神社 **C**

鳥居から見える相島(あいのしま)は、
とにかく美しい。

庚申塔 **E**

60日に1回あるという庚申の日は、夜寝る
と三尸という虫が体から這い出て、その人
の罪を天帝に告げ口するといわれている。

**歴史の
1ページ**

米多比には何代が続いた
山伏さんが、居りました。
写真は修験僧として正式に
認可された時のものです。

